

第二部 活動発表・学習発表

おもしろ石コンクール

応募総数：182点

- おもしろ石大賞 廣川 和雄
- ジオパーク優秀賞 松野 正和
- ジオパーク賞 保刈 鹿郎
- ジオパーク賞 横田 清治
- 特別賞 五十嵐住江
- 特別賞 井上 綾乃 (糸高2年生)
- 特別賞 荻野 俊弘
- 特別賞 高木 宏悦 (東京都)
- 特別賞 山岸みらい (大野小4年生)
- 特別賞 渡邊 利秋



糸魚川ジオパーク検定 初級編

検定日：平成21年11月8日
 受験総数：464人
 合格者数：433人

満点合格者 佐藤 義博

小中学生合格者

- 竹内くるみ (糸魚川東小3年生)
- 大橋 朱里 (糸魚川東小3年生)
- 磯野 楓太 (糸魚川東小3年生)
- 滝澤 拓実 (能生小6年生)
- 月岡 流慧 (田沢小6年生)
- 田原 奏慧 (田沢小6年生)
- 吉田 悠馬 (上越市立城中1年生)
- 山岸キラ (糸魚川中1年生)



マスコット愛称募集

- ジオパークキャラクター 「ジオまる」
寺崎 陽奈 (糸魚川小4年生)
- 奴奈川姫キャラクター 「ぬーな」
山本 真弓



開会あいさつ



糸魚川ジオパーク協議会副会長 糸魚川商工会議所会頭 高瀬 衛

今日は長時間にわたり大勢の皆さん方からお集まりいただきましたことを、心より厚くお礼申し上げます。また、伊藤先生からジオパークあるいは地球環境問題に至るまで素晴らしいお話を聞くことができました。糸魚川ジオパークについては、多くの先輩の皆さん方が長い期間にわたり進められ、ようやく今年8月、世界認定を受けたわけでございます。以降、テレビ、新聞などでずいぶん情報発信されており、全国からたくさんのお客

様が糸魚川を訪れております。施設を充実すること、交通アクセスをしつかりすることも大事ですが、心のこもった精一杯のおもてなしが一番大切です。一日で24のジオサイトを見ることはできません。また来たいと思わせる糸魚川になるよう、市民みんなで頑張っていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

※本講演録内の敬称は省略させていただきました。

- 【主催】糸魚川ジオパーク協議会、文化庁、新潟県地域文化芸術振興プラン実行委員会
- 【後援】糸魚川市教育委員会、新潟日報社、(株)上越タイムス社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞社上越支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、信濃毎日新聞、日本経済新聞社新潟支局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、FM-Jエフエム上越

問い合わせ先 糸魚川ジオパーク協議会 (糸魚川市役所 ジオパーク推進室)
 〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮 1-2-5 TEL.025-552-1511

 糸魚川ジオパーク
 Itoigawa Geopark

世界認定記念フォーラム 2009

世界に誇る、素晴らしい大地と文化

とき 平成21年11月29日(日) 午後1時30分～午後4時30分
 ところ 糸魚川市民会館大ホール

第一部 セレモニー・講演

開会セレモニー

報告

「“世界”までの歩みとこれから」
 竹之内 耕 (フォッサマグナミュージアム学芸員)

記念講演

「ジオパークから地球への想いを」
 伊藤和明 (日本ジオパーク委員会委員、NPO 法人防災情報機構会長)

世界ジオパーク認定記念演奏

高橋竹山 (糸魚川ジオパーク大使)



第二部 活動発表・表彰

活動発表

「絵本・ヒスイのはなし」
 ジオキッズ・レッドクロス (山ノ井保育園)

学習発表

「だいすき ふるさと 上早川」
 上早川小学校 3・4年生

提案

「糸魚川ジオパークを楽しもう」
 宮島 宏 (フォッサマグナミュージアム学芸員)

表彰

おもしろ石コンクール、ジオパーク検定
 マスコットキャラクター愛称



参加者 / 800名

主催 / 糸魚川ジオパーク協議会、文化庁、新潟県地域文化芸術振興プラン実行委員会

第一部 **開会あいさつ**



糸魚川ジオパーク協議会会長
糸魚川市長 **米田 徹**

当市では、昭和62年に糸魚川特有の地質資源を地域振興に結びつけるため、「フォッサマグナと地域開発構想」を策定しました。正にこれが糸魚川ジオパークの原点です。平成3年から貴重な地質箇所をジオパークと呼び、解説板等を整備してきましたが、各地区、各団体の活動と結びつけ発展させる最適な方法と判断して、平成19年9月市議会で、世界ジオパークネットワークへの加盟を目指すことを表明いたしました。

一方、国に対し、日本からの世界ジオパーク実現を働きかけても、世界的に新しい取

り組みであることから、窓口や支援体制も不明確な状況でありました。しかし国内でも、関心のある地域があることが分かり、関係地域で協議を重ね、平成19年12月に、日本のジオパーク実現を目指した13地域で、日本ジオパーク連絡協議会を設立し、私はその会長に選任いただいたところであります。

その後、関係学会等のご尽力や国のご理解もありまして、平成20年5月に、日本のジオパークの審査をする日本ジオパーク委員会が設立、同年12月、国内7地域が日本ジオパークに認定されました。そして糸魚川など3地域が世界に申請し、本年の8月、日本で初めての世界ジオパークに認定いただきました。世界ジオパークを目指してわずか2年での実現であり、ひとえに諸先輩の方々や多くの皆様の長年の取り組みの賜と改めて敬意を表します。

現在、世界ジオパークネットワークへの加盟は、世界で19か国64地域のみであります。皆様方ご存知の世界遺産が約900地域であ

ることを考えますと、まだまだ限られた地域での取り組みですが、世界ジオパークの目的は保存と活用であり、持続可能な地域振興を目指す当市にとりましては、大きな魅力でもありチャンスでもあります。平成26年度末には北陸新幹線長野・金沢間が開業いたします。ストロー現象が懸念される中、糸魚川らしい魅力あるまちづくりに一筋の光が見えてきたものと確信いたしております。

あくまでも世界認定はひとつの通過点であり、これらの効果を最大限に活かすにはお一人お一人の意志と行動が必要となってまいります。どうか本日のフォーラムを契機といたしまして、多くの皆様から「世界ジオパークのまち糸魚川」を誇りにしていただき、新しいまちづくりに積極的に参画していただけることを切にお願い申し上げますとともに、本日も来場の皆様方のご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げ、開会のごあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

第一部 **来賓祝辞**



衆議院議員 **筒井 信隆**

糸魚川市は他の地域と比べて格段に資源が豊富な地域です。糸魚川のヒスイは古代には佐賀の吉野ヶ里にまで、北に行けばサハリンの方まで渡っていたと言われていました。どうして糸魚川市だけにこんな綺麗なヒスイができたのか。もちろん科学的に考えれば、いろんな偶然が重なったのだと思います。しかしどうして新潟県全体、日本全体、全国で糸魚川市だけなのか。これはやはり神の配慮としか言いようがないと思っております。

豊富な糸魚川市の資源、これを活性化しない手はありません。それが今度ジオパークという形で、その活用用の具体的な方向性が出てきたわけでございます。これは大きな意味がある。これを本当に、全国、世界に広げていくことによって糸魚川市の活性化が図られると確信しております。



新潟県議会議員 **小川 和雄**

昭和62年、私が糸魚川市財政課長の頃、今のフォッサマグナミュージアムが建設されました。当時、財政事情が厳しく7億円の予算で県にお願いに行きましたところ、「10億円以内の博物館や美術館、民俗資料館等は成功した例がない。10億円以上のことを何とか考えるべきだ」という話があり、14億円で今のフォッサマグナミュージアムが建設されました。これが、ジオパークの起爆剤の一点になっているのではないかと、当時関係していたひとりとして大変喜んでいました。

世界の認定を受けて、今後はいかに活かしていくか知恵を出していただきたい。今は日本全体が交流都市で地域おこしをしようと取り組んでおります。糸魚川も是非ともこれを起爆剤にして、世界ジオパークとして、日本で初めに認定をいただいたことにふさわしいまちおこしをお願い申し上げます。

※引き続き、泉田裕彦新潟県知事からのお祝いのメッセージをご紹介します。



糸魚川市議会議員 **倉又 稔**

糸魚川は大きな公園や大きな観光地を作らなくても、今あるものをそのまま見せても十分皆さんに喜んでいただける自然ばかりです。それらを自信をもって案内できる地元のガイドの人たちが育ってくれて、案内していただければ、もっとよそから人が来てくれるのではないかと思います。

糸魚川のジオサイトは24か所ありますが、このうち軽装で行けるところは限られています。初めは1か所、2か所回って最終的には24か所のジオサイトすべてを回ってもらえるように結びつけていってほしいと思います。それには役所だけではなく、市民みんなが一緒になって、糸魚川全体で盛り上げる必要があると思っております。

本日もここにいられた皆様と市役所、県、国とともに、この糸魚川を盛り上げて行ってほしいと思います。

第一部 **報告「“世界”までの歩みとこれから」**



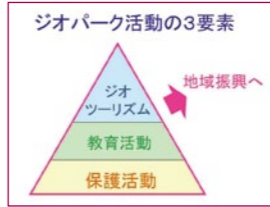
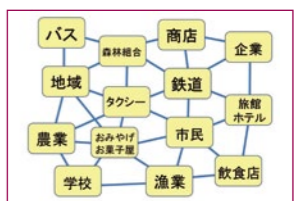
フォッサマグナミュージアム
学芸員 **竹之内 耕**

歩み (2007-2009)
2007(H19)年3月
世界ジオパーク情報収集開始
2007(H19)年9月
世界ジオパークをめざす
2009(H21)年8月
世界ジオパーク認定

ジオパークとは「人と大地の関係」を丸ごと学習できる自然公園

世界遺産…
保護：次世代への継承
すぐれた遺産(モノ)

世界ジオパーク…
学習の場
すぐれた大地の遺産(モノ)
すぐれた観光・学習システム



ふるさと学習(フォッサマグナパーク)
2008年~2009年



ガイド講座(伊天岩)
2008年~2009年



推進市民の会設立
2008年7月



GGNの現地視察
2009年7月

GGN 調査団の言葉

- ・ジオパークは「ネットワーク」だ。
- ・つねに改善、改善なんだ。
- ・世界ジオパークの「ブランド力」で勝負せよ。

第一部 **記念講演「ジオパークから地球への想いを」**



日本ジオパーク委員会委員
NPO法人防災情報機構会長 **伊藤 和明**

ジオパークとは

ジオというのは地球とか大地を意味します。学問では、ジオロジは地質学、ジオグラフィーは地理学、ジオモーフオロジは地形学、ジオフィジクスは地球物理学であり、地球に関する学問は、ほとんどジオロジあるいはジオグラフィーという言い方をしています。

ジオパークの条件

- ★貴重な地質遺産+考古学的・生物学的文化的価値のあるサイト
- ★公的機関・地域社会・民間団体による運営組織と財政計画
- ★ジオツーリズムなどによる地域の振興
- ★博物館・自然観察路⇒教育・普及活動
- ★地質遺産の保全 ★防災への取り組み

ジオ(Geo)とは？

- Geo=地球、大地
- Geology ⇒ 地質学
- Geography ⇒ 地理学
- Geomorphology ⇒ 地形学
- Geophysics ⇒ 地球物理学
- Geometry ⇒ 幾何学

エコを支えるジオと地学教育

ジオパークというのは地質の多様性の保全がベースにあります。実はその上に乗っている動植物、いわゆる生物たちの世界を支えているという言い方をしてもいいと思います。

1992年に地球サミットが開かれ、地球温暖化防止条約が締結されましたが、それと同時に生物の多様性に関する条約が結ばれました。生息環境というのは、地質の環境に依存をしているということですから、その生物の多様性を確保するためには、どうしてもその地質の多様性を保全しなければならない。ジオダイバーシティがバイオダイバーシティを支えているんだという見方ができるわけです。

世界ジオパークに認定された日本の3地

“エコ”を支える“ジオ”

1992年地球サミット
「生物多様性に関する条約」
第1条「その生息環境とともに保全」
生物の生息環境は地質環境に依存
生物多様性(Biodiversity)の確保
↑↑
地質多様性(Geodiversity)の保全

ジオパークを活用しての地学教育を

貧弱な日本の地学教育

地球の不思議、大地の不思議に直接触れて、ふるさとの自然を、科学の目で見つめなおす
「ジオツアー」は絶好の機会

域については、これから地学教育というものをいかに活性化していくかということだと思います。日本の地学教育はとても貧弱です。公立の高等学校で地学を開設しているところが非常に少なく先生もいないという状況ですから、なかなか子どもたちの地学に関する興味、関心というのが浮かび上がってこない。地学教育を活用するためのジオパークの利用はとても重要だと思っています。

つまり地球の不思議や大地の不思議に触れ、科学の目で見つめ直すような…例えばジオツアーというのは絶好の機会であり、是非、進めていっていただきたいと思っています。

今後への期待

市民や観光客が参加できるようなジオツーリズムをいかに活性化していくかということが大事ですが、オーバーユースによる環境破壊ということにも注意をしておかなければなりません。4年後には再審査がありますから、再審査の時にいろいろとクレームをつけられないようにしていかなければならないと思います。

市民の皆さんの積極的な参加を推進する

今後への期待

- ★市民、観光客が参加できるジオツーリズムの活性化
- ★但し、オーバーユースによる環境破壊に注意！
- ★市民の積極的な参加を推進
- ★将来に向けてジオサイトの保全
- ★後進地域へのアドバイス！
- ★ジオパークの利用と防災の両立

ことも大事ですし、ジオサイトの保全が重要です。後進地域に対しては、これまでの経過からどのような教訓が得られたかということを示すアドバイスをしたいと思っています。

地球は素晴らしい偶然の産物

さて、この地域は5億年前のヒスイから、現代の火山や、糸魚川-静岡構造線のような正に現代の現象というものが非常に幅広く、時代的にも幅広く広がっていますが、それを見て地球への想いというものを感じ取っていただきたいと思います。

新潟の焼山は、まさに溶岩ドームです。過去にはたびたび大きな火砕流を引き起こして、地域に災害をもたらしている。

ヒスイ峡の石灰岩の岩壁。皆さんは石灰岩をセメントの材料だと思っているかもしれませんが、実は地球の歴史の上で石灰岩というものは非常に重要なことを物語っています。

地球の誕生は 46 億年くらい前ということも多くの方がご存知ですが、地球の上に海が誕生したということは非常に素晴らしい。大気中で増えていく二酸化炭素を吸収してくれたのが海ですが、吸収された二酸化炭素が後に生物の殻や骨に吸着して珊瑚礁になる。それが、岩石になってい



たのが石灰岩です。ヒスイ峡の大岩壁の石灰岩というのは、正に地球の海が作ってくれた大岩壁です。

金星は地上の気温が480℃、大気は97%くらいが二酸化炭素です。火山から吹き上げた二酸化炭素が溜まりに溜まっている。金星には海がありませんから、吸収せず温室効果がどんどん進んでしまっ、480℃という死の世界になったわけです。だから地球の上に海が生まれなかったら、地球は金星と同じようになってしまったかもしれない。そういう地球の素晴らしい偶然に想いをはせていく必要があると思います。

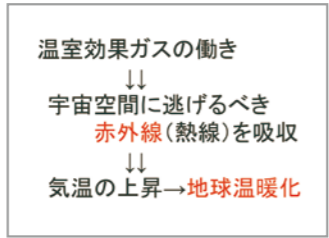
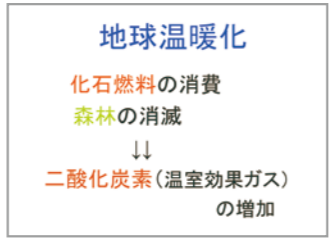
地球温暖化現象

最近、地球の環境がさまざまな面から汚染をされていく。あるいは地球温暖化という現象が進んで、地球の未来、さらには人類の未来にも影響がでていくであろうと予測されています。

人類が地球上で化石燃料を消費する。あるいは森林をどんどん伐採していく。森林を伐採していくとどうい事が起こるか。本来植物は二酸化炭素を体へ取り込んで、光合成をして酸素に変えてくれる働きをしていますが、その二酸化炭素は植物が消えていけば、相対的に増えてしまう。

この二酸化炭素のようなガスを温室効果ガスという言い方をしています。温室効果ガスが増えていくと、宇宙空間に逃げていく赤外線を吸収する。赤外線というのは熱線ですから、熱を吸収してその結果として気温が上昇する。これが地球の温暖化につながっていくというわけなんです。

これが非常に大きな問題で、来月12月にはCOP15という、気候変動に関する国際会議がコペンハーゲンで開かれます。国際的にこの温暖化をどのように食い止めて

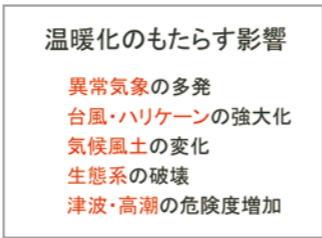


いこうかという努力がなされていますが、なかなか各国の足並みが揃わないわけです。

IPCCによる予測

IPCCというのは、気候変動に関する政府間パネル (Intergovernmental Panel on Climate Change) と言います。

「地球の平均気温というのは、21世紀の終わりまでに20世紀最後の20年間と比べると1.1℃~6.4℃上昇します」という予測を一昨年に出しています。国際協力の下で二酸化炭素の排出量の削減に努めていけば、



1℃くらいで済むかもしれない。今のまま何もやらずにいくと最大6.4℃、この報告書では平均4℃くらい上昇すると書いてあります。海面も最大で59cm上昇します。

海面が上昇するわけは、気温が上がれば海水の温度も上がりますから、海面が膨張する。

もう一つは南極大陸やグリーンランドの大陸氷河、ヒマラヤやヨーロッパアルプスの氷河の氷が溶けて、どんどん後退していくことが、海面上昇へとつながっていくということです。

平均4℃がいかに急激か。例えば縄文時代の前期というのは暖かい時代だったんですね。その頃は現在よりも2℃高かったことですが、自然に任せておくと2℃の変化をするのに6,500年という時間をかけているということです。ところがこの予測でいきますと、2℃変化をするのに50年あったらいいんです。自然が6,500年かけてやってきたことを50年でやる。人類の活動による影響は、50年ということは割り算をすると130倍くらいになりますね。こんな急激な変化を、地球の大気は今までかつて経験してきたことがないんです。

温暖化のもたらす影響

その結果として大気中の自然のバランスが壊れて、いろんな問題が起きつつある。温暖化のもたらす影響は、各地で異常気象が多発しています。日本でもゲリラ豪雨のようなものが頻発しています。サウジアラビアはほとんど雨が降らないところなのに、今は大雨が降って大洪水を起こしています。

そのような異常気象現象が世界中で多発をしている。台風やハリケーンが強大化をしていく。これも非常に大きな問題で、気温が上昇すると海水の温度も上がりますから、大量の水蒸気が蒸発します。それが空の高いところへ行くと雲に変わります。つまり水蒸気という気体が雲という液体になる時に潜熱を出し、台風のエネルギーになる。気温も上がり海水の温度も上がれば、大量の水蒸気が発生して、雲に変わる時に大量の潜熱を出す。それが台風のエサになり台風はどんどん大きくなる。同じようにアメリカを襲うハリケーンも強大化するという事です。

いずれも防災上の問題を上の二つが生じているわけです。さらには気候風土が変化していく。これも大きな問題です。よく言われるのが、平均気温が2℃上がると沖縄の気候が大阪へ来ると言われています。だから、大阪から西は亜熱帯になってしまうかも

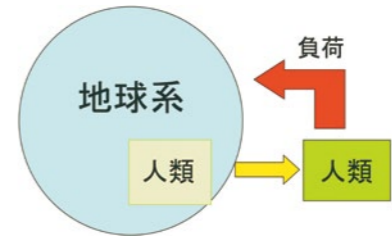


もしれない。ひょっとすると50年後にはそういう世の中になってしまうかもしれないですね。

当然、作物の取れ方にも変化が生じますし、生物の生態系についてもいけない。

さらには、津波とか高潮、これも当然のことながら海面が上昇すれば、その分だけ津波の高さも高潮の高さも高くなりますから、これも防災上の問題です。温暖化は、環境問題とともに防災上の問題ももたらしていくということなんです。

この他にも地球規模の環境問題は、温暖化以外でも言われています。それに対してどのように対処をしていくかを問われています。ここで大事なことは、われわれ人類がそのようにして地球の環境に影響を与えてきた時間というのは極めて短いということです。



この図をご覧ください。人類はついでこの間まで地球の系の中に組み込まれて生きてきました。ついでの間までは、地球の自然と仲良くして、そして地球の自然の中にうまく組み込まれて、地球の自然の中から資源をもらい、地球の自然が寝返りをうった時に恐れを抱いてうまく付き合ってきたはずなんです。ついでの間というのは、産業革命の頃まで、200年余り前までです。ところが、産業革命以降、技術力あるいは機械力を持つことにより、人類は独立の系を持ってしまった。地球の系から、はみ出してしまったということなんです。その独立の系を作った人類が、さまざまな形で生まれ育ったはずの地球の系にいろいろな環境不可を与えている。

その結果として地球の系のバランスが壊れて、人間の世界に環境問題や防災上の問題の災害を起こすことでしっぺ返しをしている。これが地球の環境問題という事を考える一つのコンセプトであろうということです。そこでこのはみ出した時間というのは極めて短いということが重要な事です。

1秒が1年を壊している

地球史46億年を1年に例えましょう。1月1日午前0時に地球が誕生して、大晦日の夜中の12時が現在だというチャートだと思ってください。歴史を見ていくと、始生代とか原生代とか地質時代と呼ばれている頃は、ほとんど生物がいなかった時代。この11月の半ば頃、6億年くらい前になって、三葉虫やウミユリといった海の生物が出てきます。糸魚川のヒスイは5億年くらい前ですから、たぶん11月20日頃だと思えますね。

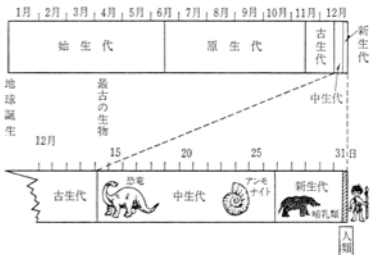
そして古生代の次の中生代は恐竜の時代です。大型のいろんな種類の恐竜が、地球の上を我が者顔にのし歩いていた時代がいわゆる中生代と言われている時代。これを1年に例えると12月14日から26日くらいまでになります。そしてある時に、この恐竜が絶滅をしてしまった。

なぜ絶滅をしたか。有力な説は巨大な隕石、というより小天体が地球に落下したんです。そんなのでかい天体が落ちますと、

海には津波が起きます。ちりが大気中に舞い上がりますから、それが地球の成層圏を回って太陽の光を遮断してしまっんです。ですから、どんどん寒冷化をしていった。恐竜というのはハ虫類ですから、体温の調節ができない。それによってどんどん滅びたであろうと考えられています。

そして恐竜が減びてくれたおかげで、恐竜の下でこそ生きていた哺乳類が頭を持ち上げます。それから哺乳類の時代で、これが新生代と呼ばれる時代です。新生代がずっと6,500万年くらい続いてきて、生物たちも進化をして、その一番最後に人類が誕生した。

だから人類っていうのは地球の生物の中では一番新参者の生物です。人類が誕生したのは地球の誕生を1年で例えるなら、おそらく大晦日の夕方5時から6時頃です。NHKの紅白歌合戦を見ようかという頃に、やっと人類の祖先が誕生した。だから人類は地球を1年で例えた場合には、ほんの6時間から7時間くらいしか生きていないのですね。でも地球と仲良くしながら生きてきた。



ところが200年余り前にはみ出した時間は地球を1年に例えた場合、なんと大晦日の夜11時59分59秒から00秒までのたった1秒です。わずか1秒の間に非常に旺盛な活動を人類がすることによって、地球が1年かかって築き上げてきたものを台無しにしてしまっているんだという見方ができると思えます。

ですから私は、「1秒が1年を壊している」、これが地球の環境問題を考える時の一番重要なコンセプトだと思っています。私は3・4年前まで小学校5年生の国語の教科書に「1秒が1年を壊している」と書いておりました。ですから、今日お集まりの皆さんのお子さんかお孫さんは多分それを習っていると思います。

ジオパークが誕生してさまざまなジオサイトがこの糸魚川地域にあって、そしてジオツーリズムも盛んになっていくことを大いに期待したいのですが、それを契機に地球に対する想いというものをごひめめていただければと思っています。

第一部 世界ジオパーク認定記念演奏



津軽三味線

高橋竹山

糸魚川ジオパーク大使(糸魚川市在住)

演奏曲目

- 1 謙良節 (青森県民謡)
- 2 津軽あいや節 (青森県民謡)
- 3 新じょんから変奏曲 (高橋竹山)



プロフィール

幼少の頃に三味線に出会い、11歳で稽古を始める。17歳の時、津軽三味線奏者初代・高橋竹山のレコードを聴いたのがきっかけとなり、18歳で竹山の内弟子となる。高橋竹与(ちくよ)の名で師・竹山とともに舞台に立つ。内弟子生活6年を経て1979年に自立。その後も初代・竹山とともに国内外で演奏活動を行う。1997年1月「高橋竹代」改め「二代目・高橋竹山」襲名。初代・竹山がそうであったように津軽三味線の基本を大切にしながら、独自の音楽表現を模索。伝統にモダンな現代感覚と女性らしい繊細さを盛り込んで演奏活動を続ける。



第二部 提案「糸魚川ジオパークを楽しもう」



宮島 宏
フォッサマグナ・ジオパーク
学芸員

- まず行ってみる
- 記録する
- 伝える
- 感じる力
- ゆっくり
- 良い参考書
- 調べる
- ジオ友を持つ
- ウェアや道具にこだわる
- 満身創意工夫

おぼえよう・理解しよう
No Good
なんかおもしろそう
Good
あるものさがし
Good

●まず行ってみよう

<p>ジオパークの楽しみ方</p> <p>ないものねだり No Good</p>	<p>ジオパークの楽しみ方</p> <p>あるものさがし Good</p>	<p>2ヶ所のジオサイト それぞれ個性があるよ</p>	<p>色々な季節に行ってみよう それぞれ個性があるよ</p>	<p>色々な時間に行ってみよう それぞれ個性があるよ</p>
<p>●記録しよう</p> <p>記録しよう フィルムノート・カメラ・スキャナブック</p>	<p>●伝えよう</p> <p>伝えよう 冊子・冊子・ホームページ</p>	<p>●感じる力</p> <p>人間は全身がセンサー 自然や文化のつよみを感じる</p>	<p>●ゆっくり</p> <p>移動方法 ゆっくり・地図にやさしい・標識に詳しい</p>	<p>●良い参考書</p> <p>良い参考書を手に入れよう 学ぶことは 楽しい</p>
<p>●ジオ時代の三大改革</p> <p>Change ジオ時代の三大改革 感じる力 → 感性の改革 ゆっくり → テンポの改革 良い参考書 → 教本の改革</p>	<p>●調べる</p> <p>ちょっとしたことに疑問を持つ ペニライガニの『ズワイ』って何だろう? 鮎・鮎の古語『鮎すわえ』のこと</p>	<p>●ジオ友</p> <p>ジオ友を時とろ</p>	<p>●ウェアや道具にこだわる</p> <p>ウェアや道具にこだわる 良い道具を使う</p>	<p>●満身創意工夫</p> <p>満身創意工夫</p>

第二部 活動発表・学習発表 “世界”の認定を受けた糸魚川ジオパークの活動に、地域のこれからの担う子どもたちにも参加してほしいと考え、活動発表・学習発表を行いました。

絵本・ヒスイのはなし

ジオキッズ・レッドクロス(山ノ井保育園)

糸魚川市内のすべての幼稚園、保育園27園がこども赤十字に加盟しています。こども赤十字は、青少年赤十字の子ども版の名称で、市内全域で加盟するのは、全国でも例のない取り組みです。この組織に「ジオキッズ・レッドクロス」と名づけ、独自のキャラクターも定め活動しています。

こども赤十字の心情と重ね合わせながら、大昔から伝わるヒスイ文化にふれ、古代歴史ロマンの発祥の地である糸魚川の素晴らしさを感じ、「ふるさとを想う心」につないでいけたら…。そんな願いからこの絵本が誕生しました。



だいすきふるさと上早川

糸魚川市立上早川小学校3・4年生

上早川小学校は、焼山ジオサイトの中に位置しています。そこには先人が守り、次の世代につなげた宝がたくさんあります。

今回は、たくさんのお宝の中から二つ、清流のシンボル「バイカモ」の保護活動と活火山「焼山」と共に生きるために行われた、地区の総合防災訓練の様子を紹介します。

ふるさとの宝を守ることは、焼山ジオサイトを守ることです。私たちの手で、大好きな上早川の宝を守っていきます。

糸魚川ジオパークの世界認定を受けて、これからも地域と連携したふるさと学習に取り組んでいきます。



<p>大すき ふるさと 上早川</p>	<p>ふるさと上早川の宝</p>	<p>自然にやさしく「バイカモを育てよう」</p>	<p>清流のシンボル「バイカモ(梅花菜)」 吉尾平の位置 上早川小学校</p>	<p>バイカモを育てよう! 元の池 改造した池(カーブをつけた)</p>
<p>バイカモはどんなところで育つのかな</p>	<p>上早川地区防災訓練 ～活火山 焼山とともに生きる～ 昭和24年2月11日撮影</p>	<p>上早川地区防災訓練 11月8日</p>	<p>救急訓練</p>	<p>大すき ふるさと 上早川 上早川小学校 20周年</p>